

消化器内視鏡検査・処置について

健 康

通 信

常陸大宮済生会病院 内科・消化器内科部長 永田 博之

COVID-19の流行もあって、元気な方は病院に足が遠のいていると思います。しかし、健康に長生きするためには、きちんと健康診断などを定期的に受けて、「症状だけではわからない病気」を早期発見していくのもまた大変重要です。日本人の2人に1人は、生涯何らかの癌にかかるといわれていますので他人事ではありません。

内視鏡検査も早期発見には重要な検査です。早期の胃癌や大腸癌であれば、内視鏡手術のみで十分に根治が可能なケースが多いです。一方、症状が出てから見つかる癌の場合には進行癌に至っていることもしばしばです。

皆さんもご存じのように、常陸大宮市では、全国的にも先駆けて胃癌検診を内視鏡（胃カメラ）で行うことが可能です。それにより、2020年度は565人の常陸大宮市民が検査を受け、5人が癌の診断につながっています。検診内視鏡は市内・外の複数の医療機関で実施しております。51歳以上の市民が2年に1度受診対象となります。受診券が届いていて、受けようか御悩みの方は、是非近隣の先生と相談してみたいかでしょうか？当院も受付しております。当院では、最新の内視鏡システムを準備しています。以前より格段に画質の良い経鼻内視鏡でも検診は可能です。□からの内視鏡が苦手な方にはお勧めです。（右写真）

また、胃癌検診内視鏡のみならず、保険診療での上部内視鏡（胃カメラ）、下部内視鏡（大腸カメラ）を、比較のお待たせせずに予約・施行いたします。それらの検査で見つかった内視鏡治療可能な早期の胃癌や大腸癌などについては、当院内科にて切除治療を行っています。進行した病変についても、外科を中心に、ガイドラインに準じた手術・化学療法などの対応を積極的に行っております。また、側視鏡を用いた胆道造影検査（ERCP）や減黄処置（黄疸をよくするためのステント治療や総胆管結石除去など）も行っております。

近隣の皆様に寄り添った検査・治療を行えるように日々努めたいと思います。女性の内視鏡施行医もおります。女性の患者さんも相談しやすいのではないのでしょうか？

コロナ感染予防対策も万全に行っております。健康面で気になる方、この機にお気軽に相談ください。



▲(左)経口内視鏡 (右)経鼻内視鏡

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

